

綾 町 商 工 会

【事業名と実施年度】

【事業実施内容】

宮崎県東諸郡綾町は、県のほぼ中央にあり、宮崎市から約 20 キロに位置する。渓谷や照葉樹林など、豊かな自然に恵まれた地で趣がある。また、酒のテーマパーク「酒泉の杜」や水面から 142 メートルの高さにかかっている照葉大吊橋、競走馬飼育が盛んな当地らしさを生かした馬事公苑、湧き出る清水などもあることから年間来訪観光客数は県内 2 位である。

[illegible]

綾町の位置（綾町役場 HP より）

ものの観光客等が訪れる。このうち30万人が、町役場隣にある有機農業の店「手づくりほんものセンター」(まちの駐車場で開かれていた朝市を施設化したもの)で買い物をしているのみで、残りの大半の観光客等は、商店街に立ち寄ることなく素通りしているのが実情であった。

このような状況に危機感を抱いた商工会や商業者、行政などからメンバーが集い、町の活性化事業に乗り出すことになった。そして、現状商店街を素通りしているような観光客や買物客を何とか個店に呼び込み、買い物をしてもらい、そこから商店街の活性化を実現するために空き店舗対策を実施するに至った。



綾町の中央通商店街

2. 事業内容

(1) 創業支援事業

チャレンジショップ事業

町内在住の陶芸家(3名)、木工芸家(2名)及び紬の織元(2名)の7名が自ら創った陶芸品や木工品、藍染め品等を展示、販売するチャレンジショップ「工芸の館ひむか邑」をオープンさせた。

戦略セミナーの開催

中央通商店街の店主等を対象に、店舗経営のノウハウ等についてセミナーを開催した。



チャレンジショップひむか邑



ひむか邑の内部の様子

(2) 商店街活性化イベント

納涼夜市祭り(8/25日・夏休み最後の土曜日)、カルチャー教室(9~10月)、ほんもの工芸祭り in 綾(11/4日)、あやひな山祭り(2/23~3/3日)等のイベントを実施し、商店街に人を呼び込み、活性化を図った。



納涼夜市共催イベント



カルチャー教室（陶芸教室）

【 効 果 】

国、県の補助事業を活用して、空き店舗対策に取り組み、中心商店街にチャレンジショップ「工芸の館ひむか邑」を開店させ、また、「商店街活性化イベント」を実施したことにより、商店街へ人々を呼び込むことができ、街の活性化が図られた。

創業支援事業の成果及び評価は以下のとおりであった。

（１）チャレンジショップ事業

チャレンジショップ「工芸の館ひむか邑」には、一日平均 30～35 人、日曜日には 60 人前後の来客者がある。

（２）経営戦略セミナーの実施

店主等 17 名が参加し、経営戦略に対する意識向上が図られた。

商店街活性化イベント事業の成果・及び評価は以下のとおり。

（１）納涼夜市共催イベント

プロの歌手やアマチュアグループによる歌謡ショーや水の郷綾太鼓等の舞台演芸が催され、また夜店として焼き鳥、焼きイカ、焼き鮎等、手づくりで本物の品物が、日頃の感謝の念を込めて販売された。夏休み最後の思い出をつくる夜市として、約 500 人の参加があり、街が元気を取り戻すきっかけになった。

（２）カルチャー教室の開催

町内陶芸の窯元、木工芸家、紬の織元などの指導により「陶芸教室」「木工芸教室」「藍染教室」を空き店舗で開催した結果、遠くは宮崎市、高鍋町、都城市などからも参加があり、延べ 116 人も参加があった。

（３）「ほんもの工芸祭 in 綾」

綾競馬にあわせて綾町で生産される木工芸品や紬、ガラスアート、陶芸品等の特産品を 7 つの事業者が展示即売した結果、約 1,500 人も参加があった。

（４）あやひな山祭り

2 箇所の空き店舗に、綾町に古くから伝わる雛飾り「ひな山」を設置した。また、各商

店においてひな祭りに関連のある商品を販売したり、かっぱ酒のサービスをしたことにより、期間中約13,000人もので来場者があった。

また、「工芸の館ひむか邑」の開店を契機に「うちの空き店舗も貸したい」、「新たに中央通商店街で創業したい」というような要望も寄せられている。最近、空き店舗に他の市町村から新規に入居した店もあり、また、自ら空き店舗で新たな商売を始めたところも出てきたなど少しずつ波及効果が現れはじめている。



あやひな山祭り

【 課 題 】

上記のとおり、一連の商店街活性化事業、空き店舗対策事業は成果を上げているが、空き店舗の解消には未だ至っていない。今後も、「工芸の館ひむか邑」のような、チャレンジショップを国、県の補助事業を活用してあと2、3店舗増やして、中央通商店街に誘引のための核施設を造り、街により一層の賑わいを取り戻す方針である。

また、既存の商店には、これまでの最寄り品や買回り品以外に、新たな商品を売る「一坪コーナー」運動を展開して、観光客等を街に呼び込み、商店街の活性化を意欲的に図る。

【 関 連 U R L 】

綾町商工会

<http://www.miya-shoko.or.jp/aya/>

【 そ の 他 】

綾町商店街の活性化は、地域のもつ観光的・文化的な資産を上手に生かし、また地域に楽しみやコミュニケーションの場を提供したことで賑わいの創出に成功した。それはまた、商工会や商店主、行政や住民などが今一度自らの地域が持つ魅力を見つめなおし、訴求してきた姿勢も大きい。

依然、空き店舗などが存在し課題は残るが、街の活性化のためにまかれた種は発芽したといっても良い。その苗の成長には今後も長い時間を要し、継続的に肥料を与え続けなければならない。肥料とは間違いなく「土＝地域の資源」「水＝資金」「太陽＝情熱と実践」「風＝新しさ」「雨＝試練を乗り越えるための実践」であり、少しでも多くの「葉＝来街者」をつけてゆけば、やがて「花＝活力ある地域生活と経済の実現」を咲かせることができるだろう。